

R8.8.28 研修参加者アンケートのまとめ

A: 本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. 遊びの広がりや深まりの重要性

- ・遊びには「広がり」と「深まり」の両方があることを学んだ。
- ・日頃は広がり意識しているが、今後は遊びをじっくり継続し「深まり」にも重点を置きたいと感じた。

2. 「10の姿」の理解と活用

- ・アプローチカリキュラム作成には、まず保育者自身が「10の姿」を理解することが重要であると学んだ。
- ・文言だけでなく写真など具体的な姿から捉えたことで、子どもの育ちとのつながりが理解しやすくなった。

3. 深い学びを支える保育者の役割

- ・「やってみたい」という子どもの意欲が学びの芽になることを再認識した。
- ・子どもを理解する力を養い、その学びを深められるよう援助することが大切だと感じた。

4. 「10の姿」と「5領域」の関連性への理解

- ・「10の姿」は「5領域」と関連し対応していることを改めて学ぶことで「10の姿」の理解を深めることができた。
- ・日常の様々な経験が図形認識や重さについての学びにもつながっていることに気付くことができた。

5. ドキュメンテーション作成の意義

- ・実際にドキュメンテーションを作成することで、学びや知識の定着につながった。
- ・次期教育要領改定の内容についても、少し知ることができた。

B: 本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 遊びや活動の広がり・深まりを意識した保育の実践

- ・子どもの姿に応じて、遊びの「広がり」と「深まり」の両方を意識していきたい。
- ・これまで重視しがちだった「広がり」だけでなく、「深まり」にも目を向けて保育をしていきたい。

2. 10の姿を意識した保育の充実

- ・日々の保育や指導計画の作成、振り返りの中で「10の姿」を意識していきたい。
- ・子どもの姿や育ちをしっかりと捉えることで、保育の質の向上につなげていきたい。

3. 子どもの思考力や学びを深める関わり

- ・子どもたちの思考力が高まるような援助や働きかけを工夫したい。
- ・「トキメキ、ヒラメキ、気づき・発見」のサイクルが生まれる保育を目指し、保育者ができることを考えたい。

4. 遊びを通した子ども理解と保育の充実

- ・これからも「遊ぶこと」を保育者も子どもと一緒に楽しみながら関わっていききたい。
- ・一人一人子どもの姿を丁寧に捉え、それぞれの学びを支えていきたい。

5. 学びの共有と実践への活用

- ・今回の研修で行ったドキュメンテーションの作成方法を園内で共有し、広めたい。
- ・研修で得た知識や視点を職員間で共有し、保育実践に生かしていきたい。